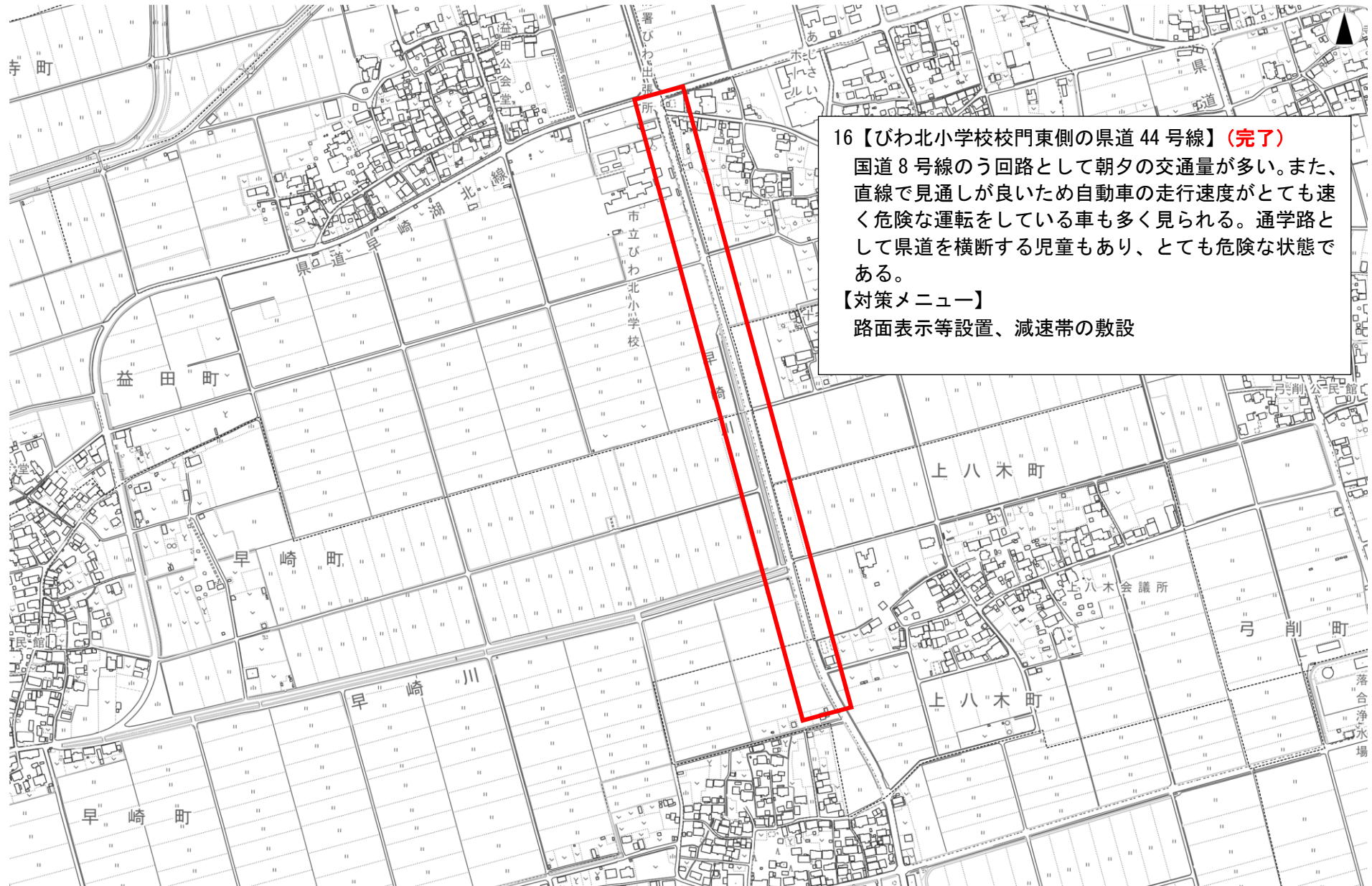


通学路対策箇所図（びわ北小学校）



16【びわ北小学校校門東側の県道44号線】(完了)

国道8号線のう回路として朝夕の交通量が多い。また、直線で見通しが良いため自動車の走行速度がとて速く危険な運転をしている車も多く見られる。通学路として県道を横断する児童もあり、とても危険な状態である。

【対策メニュー】

路面表示等設置、減速帯の敷設

通学路対策箇所図（びわ北小学校）



17【県道早崎湖北線】(完了)

川に勢いがあり、児童が落ちると流されてしまう危険性がある。ガードをするものがあるが、下の方が広く開いており、背の低い児童であれば体が通ってしまい下に落ちる可能性があり、非常に危険である。また、雪の日など誤って滑ってしまった際にも、落ちてしまいそうで危険である。同じ個所の北側のガードには、網目の細かいフェンスがされていて安全である。

【対策メニュー】

路面表示等設置、小型のコンクリート擁壁を整備し、過去の舗装嵩上げにより生じたアスファルトの斜面を除去

通学路対策箇所図（湖北中学校）



18【県道延勝寺速水線】（完了）

道幅が狭くセンターラインやグリーンベルトもない道路。朝日学区の自転車通学の生徒は混雑する状態になっており危険である。

【対策メニュー】

路面標示等設置

通学路対策箇所図（虎姫学園）



19【県道丁野虎姫長浜線】(完了)
旧大井橋が落とされると、新大井橋が通学路になる。新大井橋の歩道は車の通りが多く、通学する児童生徒にとって危険である。
【対策メニュー】
横断防止柵設置